

セミナー
 Seminar
 ヘルスケア系 化学・電気系
 その他各分野
 8月 8月
 9月 9月
 10月 10月
 11月~ 11月~

▶ セミナーに申込む
 こちらをクリックし
 お申込フォームにお進み下さい。

*その他 **機械学習・ディープラーニング・人工知能**: 関連セミナー、書籍はこちら:

人工知能は万能のツールではない!
 基礎から導入ポイント・実例まで応用の観点から人工知能技術をわかりやすく解説!

人工知能の産業応用

現時点での実力と課題・導入のポイントと実例から今後の可能性まで

講師
 株式会社NTTデータ経営研究所 情報未来研究センター
 ニューロイノベーションユニット マネージャー 神田 武 先生
 モデライズ株式会社 代表取締役社長兼CEO
 高村 淳 先生
* 希望者は講師との名刺交換が可能です

→このセミナーを知人に紹介する
 講師2名も執筆! 書籍「人工知能・機械学習・ディープラーニング関連技術とその活用」好評発売中!

日時・会場・受講料
 ●日時 2017年8月21日(月) 13:00-16:30
 ●会場 [東京・東陽町]江東区産業会館2階第6展示室 →「[セミナー会場へのアクセス](#)」
 ●受講料 1名41,040円(税込(消費税8%)、資料付)
* 1社2名以上同時申込の場合、1名につき30,240円
* 学校法人割引: 学生、教員のご参加は受講料50%割引。→「[セミナー申込要領・手順](#)」を確認下さい。
 ●録音・撮影行為は固くお断り致します。
 ●講義中のパソコン・携帯電話の使用はご遠慮下さい。

■ セミナーお申込手順からセミナー当日の主な流れ →

セミナーポイント
 第1部 13:00~14:40 神田 武 先生 「人工知能の導入・産業応用の考え方」
 第2部 14:55~16:30 高村 淳 先生 「人工知能の現状・課題とAI実用化事例」

第1部 「人工知能の導入・産業応用の考え方」
 人工知能技術、とりわけ機械学習技術は、データ活用の観点からビジネス上の実践的な課題に取り組める技術になりつつある。本講義では人工知能技術の現時点での実力と可能性、及び将来にわたって産業やビジネスに与える影響の見通しについて、ビジネスサイドから幅広い事例に基づいて説明する。

○受講対象
 ・自動車、電機、ヘルスケア、住宅、食品・飲料、金融、小売り、広告宣伝、不動産、飲食、ITサービスなどの製品・サービス開発に従事されている方
 ・メーカーの技術戦略・経営企画などの部署で、新規事業や新規の研究開発の企画立案、中長期のビジョン策定に従事されている方
 ・企業において、カスタマーサポートなどの顧客接点の高度化に取り組まれている方
 ・企業において、従業員の生産性向上、業務効率化等に取り組まれている方

○受講後、習得できること
 ・人工知能が注目されている背景に関する理解
 ・様々な業界・企業における人工知能の導入・活用の展望
 ・自社ビジネスへの人工知能の導入・活用のヒント

○目次
 1.人工知能の基礎知識
 1)人工知能を取り巻く世界的状況
 a) 世界的な注目の高まり
 b) 国内外の企業による研究開発の取り組み
 c) 各国政府の取り組み
 2)人工知能の基礎知識 ①定義
 3)人工知能の基礎知識 ②歴史
 2.人工知能が産業に及ぼす影響
 1)経済や雇用への影響
 2)人工知能技術が注目される背景
 3)人工知能技術の導入・活用を可能とするための条件
 4)産業別の代表事例
 3.人工知能を自社事業に導入・活用するためのポイント
 1)人工知能の導入・活用のパターン
 a) 人工知能ベンダーの類型
 b) 先進的なオープンイノベーションの例

- 注目の新刊**
 ・雑誌 月刊化学物質管理
 ・塗膜をよくするテクニック
 ・医薬品GMP監査員必携
 ・データインテグリティ要件と解説
 ・リチウムイオン二次電池
 ・製品品質照査
 ・量子ドット材料
 ・GMP文書
 ・人工知能関連の法的実務
 ・抗菌・防カビ・抗ウイルス
 ・欧米主要国の保険・薬価制度
 ・2017車載カメラ【改定版】

- 分野別 Index page**
 化学・電気系他分野別一覧
 植物工場他
 機械学習他
 ヘルスケア系分野別一覧
 海外関連
 医療機器
 各業界共通
 マーケティング・人材教育等
 「化学物質情報局」
 特許・パテント一覧 INDEX
 (日本弁理士会 継統研修)

- 印刷用申込フォーム**
 ・セミナー用
 ・書籍用

↑↑↑
 新着セミナー、新刊図書
 情報をお届けします。

グローバルサインのサイト
 表示するには、JavaScriptの使用を
 許可して下さい。
[グローバルサインはこちら](#)

- 2)日本における人工知能の事業活用への相違
- 3)事業活用におけるポイント

4徹底予測！人工知能が創る未来のビジネス

- 1)人工知能の進化の方向性
- 2)業界別の見通し
 - ・コーポレート業務
 - ・情報・通信・メディア
 - ・医療・ヘルスケア
 - ・交通・物流・製造 等

5まとめ

- 1)弊社(NTTデータ経営研究所)の取り組み
- 2)まとめ

<質疑応答>

第2部 「人工知能の現状・課題とAI実用化事例」

AIは第4次産業革命により創出が期待される新産業の核技術と言われるほど重要な技術であるが、内容が高度であるため現在の技術で何ができるかできないかが専門家以外には分かりにくい。講師の日本やシリコンバレーでの長年のAIの経験をもとに、AIで現在実現可能なことについてこれまでの実用化した事例を基にデモも交えながら具体的に述べる。

○受講対象

AIを活用した新規事業を現在計画されておられる方、または今後AIの活用を計画されているがどのように活用すればよいかわかりたい方等。

○受講後、習得できること

様々な分野で現在または今後AIの活用を考えておられる方々に、そのAIの応用がすぐに実現可能か現時点ではまだ研究レベルで時間がかかりそうかの判断基準(知識)をできるだけ分かり易く解説する。

○目次

- 1.AIがもたらす第4次産業革命・新産業
 - 1) 第3次AIブームと社会の期待
 - 2) 第4次産業革命が創出する新産業とは
 - 3) AI研究開発の2つのアプローチ
 - 4) AIの全体像(基礎と応用分野)
 - 5) AI関連産業の市場規模予測
 - 6) AI関連産業の新市場予測
- 2.解決すべきAIの社会的・技術的課題
 - 1) 技術実用化の一般的課題
 - 2) 現時点でAI技術を実用化する要件
 - 3) 現状のAIの実用化を成功させる着眼点
- 3.AIモデル構築・活用を直観的に理解するためのデモ
 - 1) データからの機械学習によるAIモデル構築デモ
 - 2) AIモデルへ有効な知識を統合するデモ
 - 3) 上記により構築したAIモデルを活用するデモ
- 4.AIを各産業のデータの高度な利活用に応用する実用化手法
 - 1) AIを応用したスマート・データサイエンス(SDS)とは
 - 2) SDSの技術・サービスの特長・優位性
 - 3) SDSの核技術であるベイズ理論を応用したAI技術とは
 - 4) SDSの応用例:高度に個別化されたスマート・レコメンド
 - 5) SDSの応用例:モノデータ/機器の予防保守・障害解析
- 5.産総研ベンチャー モデライズ社のご紹介
 - 1) モデライズ(株)会社概要
 - 2) 経営陣
- 6.AI実用化事例紹介
 - 1) SDS事例1:小売業での従来技術と比較した購入率拡大事例
 - 2) SDS事例2:スマート・ヘルスケア(リスク診断と解決策推奨)
 - 3) SDSその他事例:残り時間に応じて過去の各種実用化事例を紹介

<質疑応答>

講師紹介

神田 武 先生

慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻コンピュータ科学専修修了。
大手シンクタンク、大手WEBサービス企業を経て、2014年より現職。情報通信分野における先進技術動向・社会動向の分析と構想、さらに、人工知能技術やエージェント技術の社会実装に向けた実証やコンサルティングを中心に活動。

高村 淳 先生

京都大学大学院情報工学科修士課程修了。NEC入社。
スタンフォード大学人工知能研究所客員研究員を経て、北米NEC Systems Inc.でディレクターとして新規事業をシリコンバレーで開拓し、ベンチャービジネス立ち上げを担当。帰国後、国立研究開発法人 産業技術総合研究所 ベンチャー開発戦略研究センターで様々なIT関連のハイテクベンチャーの立ち上げに従事した後、2005年産総研ベンチャー モデライズ(株)を設立し代表取締役社長兼CEOに就任し、現在に至る。



▶ [セミナーに申込み](#)

こちらをクリックし
お申込フォームにお進み下さい。

セミナー番号: AC170898

[top](#)